

## 西胆振地域連携研修・法人内研修 実施報告書

<b>研修名</b>	平成29年度入社職員フォローアップ研修
------------	---------------------

<b>対象者</b>	入居系事業所に勤務する職員
<b>日程</b>	平成30年7月4日(水)～5日(木)
<b>会場</b>	高齢者ケア研修センター 財田の杜



研修のねらい	
<p>入社から1年が経過し、現在の自分の状況を本研修の中で、客観的に振り返ることで、課題を明確にします。同期の仲間とともに成功体験や失敗体験を共有し、業務に対する不安や悩みの解消、主体的に取り組む職員となれるよう、意識を高める機会とします。</p>	

研修プログラム				
時間	研修科目	講義形式	講師	研修内容
1日目				
9:30～10:30 (60分)	法人理念とビジネスマナーについて ～幸清会が大切にしていること～	講義	G H) ほんのぼの 沼田施設長	法人の基本理念、経営理念・ケア理念についての意味や意義について再確認するとともに、理念を基盤とした利用者本位のケア、尊厳ある実践について学ぶ。更に、法人が大切にする「思いやりの心」を織り交ぜながらビジネスマナーについても学んでいきます。
10:40～12:00 (80分)	利用者の安全な生活とは ～リスクを捉え、より良いケアをすすめるために～	講義・演習	特養) 幸楽園 鈴木介護支援専門員	日常生活場面で起こりうるリスクを洗い出し、日々の支援の中で自身がどのような役割を担うことが事故の発生予防や事故発生後の迅速かつ適切な対応につながっていくかを理解する。
13:00～15:00 (120分)	介護技術・移動介助	講義・演習	特養) みたらの杜 黒滝理学療法士	介護の中でもリスクが高いと言われる移動介助。安心、安全な介護を提供する為、移乗介助、体位交換の正しい方法について実技を通じて再確認していきます。
15:10～17:10 (120分)	認知症の理解と対応(サポーター養成講座)	講義・演習	特養) みたらの杜 白井介護支援専門員	認知症の中核症状や行動・心理症状について正しく理解し、適切な対応へつなげ、適切な支援について学ぶ。
2日目				
9:10～10:50 (100分)	本人らしい「生活」の支援	講義・演習	ユニットケア指導者	高齢者が日常生活を営むことを支援するためのポイントについて確認し、食事・入浴・コミュニケーション等生活の流れに沿って、場面ごとの事例を通して考える。
11:00～12:00 (60分)	本人が見える「記録」の書き方	講義・演習	特養) 舟見の杜 波方生活相談員	「本人の生活が見える」記録の方法について、講義・演習を通じて学ぶ。
13:00～15:00 (120分)	食事支援の基本と実際	講義・演習	特養) 幸豊ハイツ 佐々木言語聴覚士	「食事」のもつ意味を理解し、自立支援の視点における食事支援について学ぶ。おいしく、楽しい食事の実践を目指して、ケアワーカーが持つべき視点やリスクなどを通じて安心安全な食事支援のあり方について考える。
15:10～16:40 (90分)	緊急時の対応と医療行為について	講義・演習	養護) 幸生園 大久保施設長	いざという時に慌てず冷静に対応できるよう高齢者に多くみられる疾病について理解を深め、緊急時の対応と医療行為について学ぶ。



研修の様子
<p>入社から1年が経過した時点での自分達の業務を振り返る意味で、受講生からは真剣に講義に臨む姿勢が見られていた。また他事業所で働く同期の仲間との意見交換についても、積極的に行っていた。</p>